

大阪経済記者クラブ会員各位

つくる(開発)からつなげる(マネジメント)の都市再生へ
中之島EASTコリドーズ構想に関する提言について
 ～中之島からヒガシに広がる水都大阪のディスティネーションを目指す～

【お問合せ】大阪商工会議所 地域振興部(森田、松枝、本)
 TEL:06-6944-6323

大阪商工会議所 都市活性化委員会(委員長:河井英明・大阪市高速電気軌道(株)相談役)は、
 中之島東部から森之宮までのエリアを「中之島EAST」と称し、一体的な活性化に取り組むため、提言「中之島EASTコリドーズ構想」(コリドール:つなぐ、回廊、ネットワーク)を取りまとめた。

「中之島EAST」を、自然・文化・交通等をつなぎ、人・情報・活動のめぐりを良くすることで、市民に愛され、世界の人々も訪れたい「水都大阪のディスティネーション」となることを目指す。本構想では、魅力的な水辺空間の創出や回遊性の向上のための5つの提言とともに、提言内容を実現する2つのモデルプロジェクトを提示している。

- 中之島EASTは、都市再生が進む南北軸(大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域)と大阪城周辺地域の都市再生緊急整備地域※を結ぶ結節点として東西軸強化の要となるエリアである。
 ※都市再生緊急整備地域:都市再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として、政令で指定する地域



- 同エリアは、歴史・文化資源が高密度に集積している一方で、水陸・東西の回遊ネットワークや周辺施設との連携が不十分で目的地化が進んでいない。また、中之島公園や八軒家浜などの再整備から約20年が経過しており、当時先駆的だった施設や取組も、環境変化に即したハード・ソフト両面の総合的アップデートが求められている。
- 「中之島EASTコリドーズ構想」は、これまでの開発中心のまちづくりから、今あるものを活かした一体的なマネジメントに主眼を置いた、持続可能な都市再生を目指している。
- 同構想では、エリア価値の最大化に向けて以下3つのコリドールの実現を掲げ、資源をつなぎ、活かし、広げ、共創で育むことを目指す。

(1) 質の高い「水・光・緑」のコリドール

水辺の公園・緑道を繋ぎ、ライトアップやアートなどで魅力を高めた水辺空間を実現

(2) 個性が際立つ「文化・歴史・活動」のコリドー

文化や歴史、シビックセンターなどをつなぎ、新たなにぎわいやカルチャーを創出

(3) 安全で快適な「交通・環境」のコリドー

歩行・交通ネットワークをつなぎ、災害時の避難輸送を支える快適な都市環境を形成

○ 上記の構想を実現するために、提言では以下の5点を提案している。

【提言1】官民連携で歩いて巡れる水辺空間の実現

官民連携で誰もが水辺に自由かつ快適にアクセス・回遊することができ、平時の憩いに加えて災害時は避難路や舟運連携の物資輸送路として機能する水陸一体の歩行者空間を整備する。

【提言2】水陸空をつなぐシームレス交通ネットワークの構築

鉄道網、陸上交通、パーソナルモビリティ、舟運、空飛ぶクルマにいたるまで、水陸空の多様な交通手段をシームレスにつなぐ交通ネットワークを構築し、回遊性を高める。

【提言3】水辺の魅力を高めるナイトシーン&ナイトカルチャーの創出

橋や護岸のライトアップに加え、歴史・文化施設を活かした光の演出や日常的に夜の水辺を楽しむナイトカルチャーの創出により、ナイトタイムエコノミーを活性化する。

【提言4】回遊性を高めるプロモーションとインフォメーション基盤の整備

文化施設や舟運事業者等と連携して魅力的なスポット等をつなぎ、インフォメーション機能・戦略的プロモーションの拡充、共通パスなどのソフトインフラ整備で回遊性を高める。

【提言5】公共空間・公共施設を活かしたエリアマネジメントの仕組みの導入

官民連携の共創体制を整え、デザイン誘導とクオリティコントロールのルールを構築し、都市再生特別措置法の活用等により、公共空間の自由な利活用と景観・空間の質向上を実現する。

○ 上記5点の提言内容を盛り込んだモデルプロジェクトとして、「エリアマネジメントを導入した中之島公園のリニューアル整備」と「エリア開発をつなぐ水辺の遊歩道・船着場の拡充」を提案している。

○ 本提言は、都市活性化委員会の下に設置する「中之島EAST検討会」（座長：大阪公立大学大学院 嘉名光市教授・同委員会副委員長）において、2025年度より、有識者、関連企業、まちづくり団体等で構成する10名の委員の議論を経て取りまとめた。今後、モデルプロジェクトの具体化に向けて、課題整理や推進体制の構築を検討する。

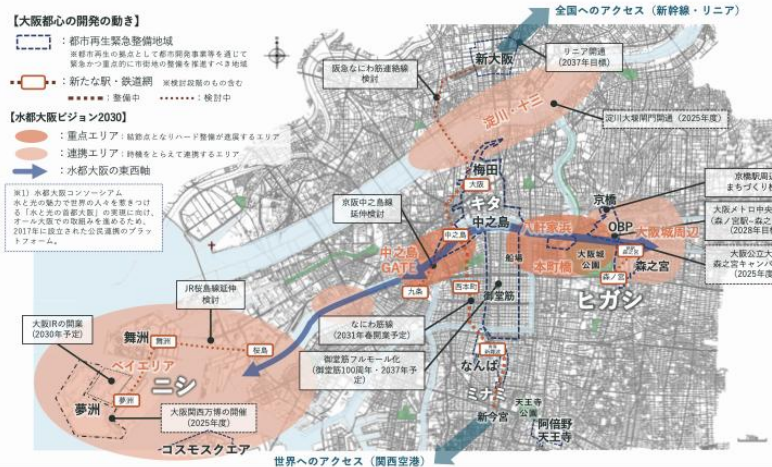
以 上

＜添付資料＞ 資料1：(概要) 中之島EASTコリドー構想に関する提言について
資料2：中之島EASTコリドー構想に関する提言について

背景

大阪城周辺地域から中之島、ベイエリアまでをつなぐ「東西軸」の強化が重要視される中、中之島東部は、南北軸とヒガシをつなぐ結節点に位置する。当該エリアのまちづくりは、大阪都心および水都大阪全体の持続的な成長にとって極めて重要である。

都市再生緊急整備地域を結ぶ水都大阪の東西軸が重要



対象の範囲

中之島東部から森之宮までを中之島EASTと称し、東は都市再生緊急整備地域・大阪城周辺地域（森之宮周辺）、西は南北軸の中心である御堂筋、南は中央大通、北は概ね国道1号線までを主な対象の範囲とする。



課題意識

- 水都大阪のシンボルエリアであるが来阪観光客の誰もが選ぶ主要目的地になっていない
水都大阪のディステーションへ
- 文化歴史・魅力資源の集積がありながら資源をつなぐ回遊ネットワークが分断
資源や魅力をつなぐ仕組みでウォカブルな水辺へ
- 水都大阪の再生から約20年が経過したことによるハード・ソフト両面における「更新」の期
ハード・ソフトの両面での更新による高質化

目標・めざす姿

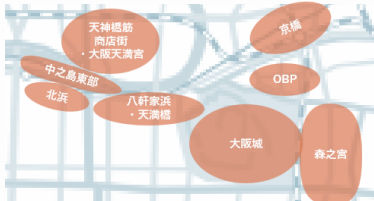
中之島EASTコリドーズ構想

徒歩圏の島内外に多様な魅力が集積する中之島EAST。

エリアの価値を最大化する3つのコリドーでこれらをつなぎ、人・情報・活動のめぐりを良くすることで、市民に愛され、世界の人々も訪れたい「水都大阪のデスティネーション」として再構築する。

個性が際立つ文化・歴史・活動のコリドー

文化やアート、歴史に関わる資源、地域や市民の活動やシビックセンターをつなぎ、多様な主体の共創によって新たな賑わいやカルチャーを生み出すコリドー。



質の高い水・光・緑のコリドー

水辺の公園・緑道を徹底的につなぎ、ライトアップや光のアート等によって魅力をより高め、昼も夜も憩いと潤いに満ちた上質な水辺空間を創出するコリドー。



安全で快適な交通・環境のコリドー

環境にも配慮して歩行・交通ネットワークをつなぎ、持続可能で居心地の良い都市環境を形成するコリドー。災害時には避難・輸送を支える防災リダンダンシーも担う。



アプローチの考え方

つなぐ

中之島EASTの島内外に集積する魅力を、水辺を中心に、空間的に徹底的につなぐ。

活かす

つながった魅力を活かす仕組みを実装し、人・情報・活動のめぐりを良くする。

ひろげる

コリドーズをつなぎ・活かす取り組みを中之島EASTからスタートし、水都大阪全体に広げていく。

共創で育む

多様な魅力や資源をつなぎ、めぐりを良くする仕組みを実装していくためには、中之島EASTに関わる多様な主体と共に取り組むことが不可欠。官民の垣根を越え、多様な主体の共創によって取り組みを進める。



提言

1 官民連携で歩いて巡れる水辺空間の実現

- 中之島EASTの水辺をつなぐ遊歩道整備
- 公園・橋・まちの接続部など歩行者ボトルネックの解消
- 水辺にアクセスできる分かりやすいサイン
- 災害時の避難・輸送を支える防災リダンダンシーの確保
- 環境に配慮した水辺空間の整備



Public Right of Way - 公共の通行権により全長128kmにわたって伸びるテムズ川沿いの遊歩道テムズパス
テムズパス/ロンドン

2 水陸空をつなぐシームレス交通ネットワークの構築

- 水陸空の交通のシームレス化
- DXによる安全で便利な舟運環境整備
- エリアをつなぐ多様な船着場とルールの整備
- 東西をつなぐ船舶航行ルートの確保の検討
- 空飛ぶクルマ実装に向けた規制緩和



左上：京阪電車
右：アクアライナー/大阪水上バス
左下：空飛ぶクルマ /Osaka Metro

3 水辺の魅力を高めるナイトシーン&ナイトカルチャーの創出

- ライトアップによる夜間景観の充実
- 夜を過ごしたくなる公園・水辺づくり
- 夜も楽しめるナイトクルーズ・ナイトカルチャーの拡充
- 新たなシンボルとなる水上建築



船から体験できる橋を使った光のアート
Amsterdam Light Festival
/アムステルダム
<https://amsterdamlightfestival.com/en/artworks/whole-hole>

4 回遊性を高めるプロモーションとインフォメーション基盤の整備

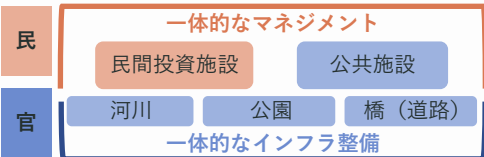
- インフォメーションセンターの整備
- 認知度や回遊性を高めるためのプロモーション
- 回遊性を高めるハード&ソフトインフラの整備・活用



まちの魅力に触れるインフォメーションセンター
CityInformationCentre /ロンドン
www.onecitylondon.com/directory/city-of-london-information-centre/

5 公共空間・公共施設を活かしたエリアマネジメントの仕組みの導入

- 官民連携による一体的なマネジメント
- 民間提案を受け入れる仕組みづくり
- 施設・団体・周辺エリアとの連携の強化
- 民間による公共空間の質の向上



官民連携による一体的なマネジメントイメージ図

展開エリア

中之島EASTを3つのエリアで捉え、西から東へ取り組みを展開する。

- 水都大阪の顔となる中心的なエリア
- 水都大阪のターミナルエリア
- イノベーション拠点エリア



モデルプロジェクト

都市再生緊急整備地域をつなぐ水辺を対象にモデルプロジェクトを実施し、周辺の開発と連動しながら相乗効果をねらう。

- エリアマネジメントを導入した中之島公園のリニューアル整備
- エリア開発をつなぐ水辺の遊歩道・船着場の拡充

中之島 E A S T コリドーズ構想 に関する提言について

大阪商工会議所

0. 経緯

- 中之島東部から森之宮までの「中之島EAST」は、都市再生緊急整備地域と水都大阪の東西軸（大阪城周辺地域から中之島、ベイエリア）・水の回廊（中之島、東横堀川、道頓堀川、木津川）を結ぶ重要なエリアである。
- そこで、都市活性化委員会では、中之島EASTの価値を再編集し、新たな賑わいと回遊性を創出することを目的に、中之島EAST検討会を2026年3月に設置した。
- 同検討会は、公共空間・公共施設の利活用や舟運活性化、歩行者ネットワークの充実や周辺連携を通じエリアの魅力を最大化させるとともに、官民連携による持続可能なエリアマネジメントの導入と、水都大阪の持続的な成長・発展を牽引するまちづくりの推進を目指している。
- 「中之島EASTコリドーズ構想」は検討会での議論をふまえて取りまとめた。中之島EASTの多様な魅力を「回廊、ネットワーク」を意味する「コリドーズ」でつなぎ、「水都大阪のデスティネーション」として再構築することを提言するもの。

■ 中之島EAST検討会の経過

2026年	検討会の内容
第1回(3/24)	検討会発足。現状把握の説明、エリア全体の方向性について意見交換
第2回(5/22)	国内外の事例紹介、構想の方向性について意見交換、社会実験について
第3回(6/26)	中之島EAST構想(たたき台)について意見交換
第4回(8/4)	中之島EASTコリドーズ構想(案)の取りまとめについて意見交換

■ 中之島EAST検討会メンバー

(敬称略・50音順)

座 長	嘉名 光市 都市活性化委員会副委員長(大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻教授)
委 員	伊藤 圭介 大阪市高速電気軌道(株)交通事業本部事業戦略部長 奥谷 崇 (一社)日本シティサップ協会代表 木ノ下智恵子 大阪大学21世紀懐徳堂准教授、クリエイティブアイランド中之島事務局長 阪本晃一郎 (株)大林組大阪本店建築事業部プロジェクト推進第二部長 清家 將之 NPO法人大阪水上安全協会会長 高宮 紀子 関西電力(株)関西電力ソリューション本部開発部門専任部長 出崎 栄三 北浜水辺協議会理事長 中野 道夫 中之島高速鉄道(株)代表取締役社長 藤村 浩一 大阪市高速電気軌道(株)都市開発事業本部駅関連・沿線開発部部長 間宮菜々子 北浜蚤の市主宰、(株)インフィクス 盛岡 淑郎 天神橋筋商店連合会(2・3丁目)
オブザーバー	大阪市：経済戦略局観光部水辺魅力担当、計画調整局開発調整部拠点整備担当、建設局企画部道路空間再編担当、建設局企画部拠点公園活性化担当、建設局道路河川部橋梁課、建設局道路河川部河川課 大阪府：府民文化部都市魅力創造局魅力づくり推進課、都市整備部河川室河川環境課、西大阪治水事務所水都再生課 水都大阪コンソーシアム事務局
事務局	本 奈美 大阪商工会議所地域振興部長 杉山岳彦 京阪ホールディングス(株)経営企画室体験価値共創担当部長、(株)はちけんや代表取締役 杉本容子 (株)ワイキューブ・ラボ代表取締役、(一社)水辺ラボ代表理事

1. 背景

■ 都市再生緊急整備地域を結ぶ水都大阪の東西軸の重要性

大阪府・市と関西経済3団体で構成する「水と光のまちづくり推進会議」（会長：鳥井信吾・本会議所会頭）による「水と光のまちづくり推進に関する取り組みの基本方針」では大阪城周辺地域から中之島、ベイエリアまでをつなぐ「東西軸」の強化が重要視されている。また水都大阪コンソーシアム（※1）による「水都大阪ビジョン2030」では「東西軸」と「水の回廊」が交わる結節点が重点エリアとして位置付けられている。都市再生が進む南北軸とヒガシの都市再生緊急整備地域をつなぐ重要な結節点として、中之島東部のまちづくりは、大阪都心および水都大阪全体の持続的な成長にとって極めて重要である。

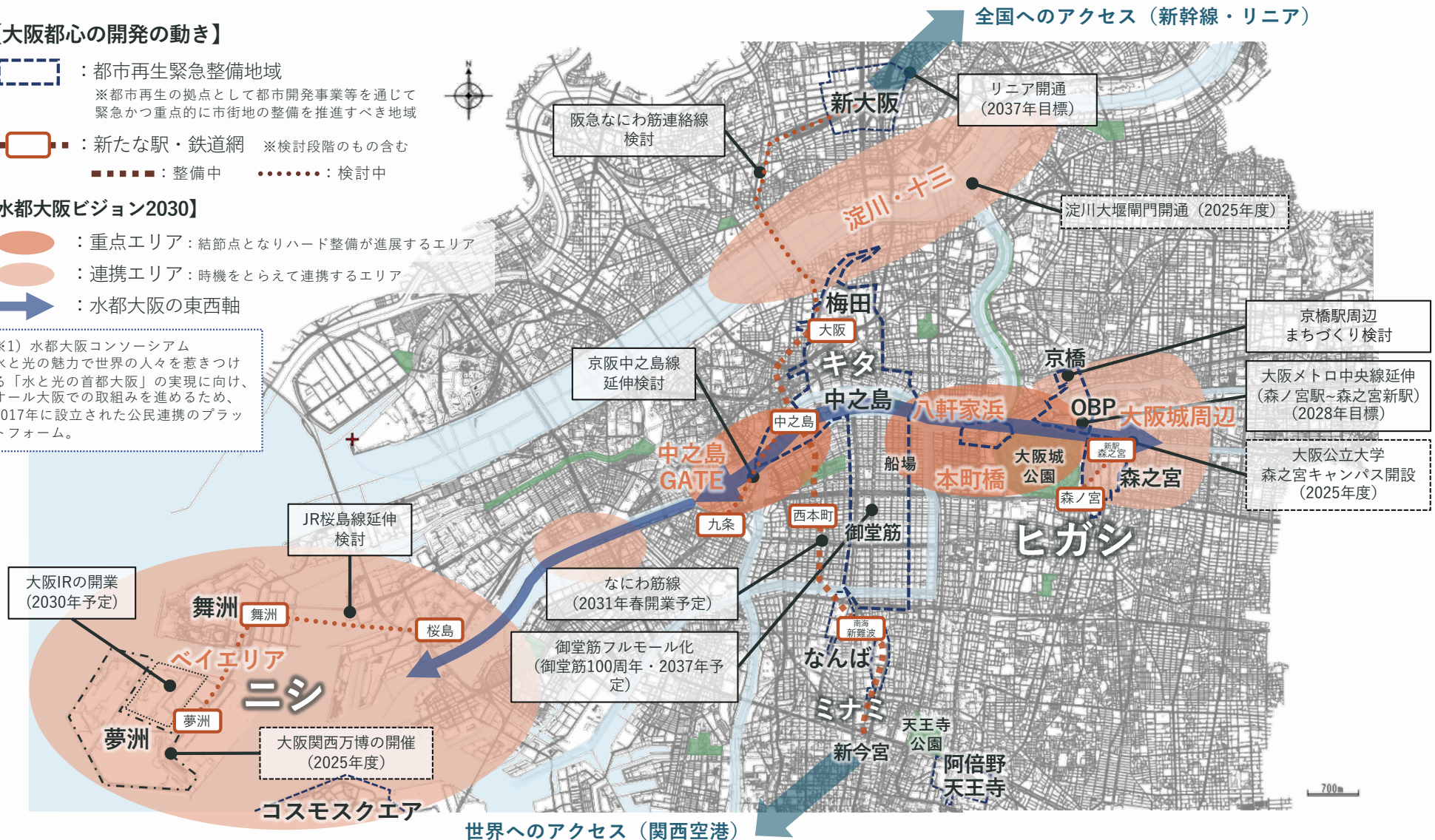
【大阪都心の開発の動き】

- 都市再生緊急整備地域
※都市再生の拠点として都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域
- 新たな駅・鉄道網 ※検討段階のものを含む
- 整備中
- 検討中

【水都大阪ビジョン2030】

- 重点エリア：結節点となりハード整備が進展するエリア
- 連携エリア：時機をとらえて連携するエリア
- 水都大阪の東西軸

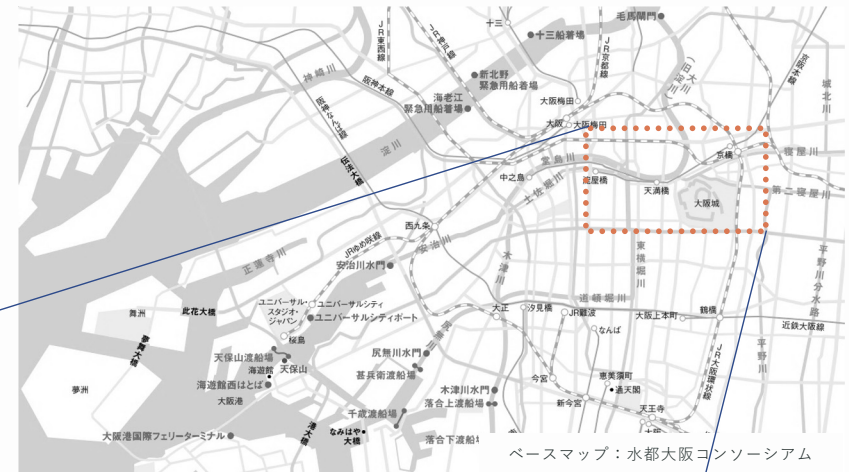
※1）水都大阪コンソーシアム
水と光の魅力で世界の人々を惹きつける「水と光の首都大阪」の実現に向け、オール大阪での取り組みを進めるため、2017年に設立された公民連携のプラットフォーム。



2. 対象の範囲

■ 中之島EAST 対象の範囲について

中之島東部から森之宮までを中之島EASTと称し、東は都市再生緊急整備地域・大阪城周辺地域（森之宮周辺）、西は南北軸の中心である御堂筋、南は中央大通、北は概ね国道1号線の範囲を主な対象の範囲とする。



3. 本提言の課題意識

水都大阪のシンボルエリアであるが
来阪観光客の誰もが選ぶ主要目的地になっていない

水都大阪のデスティネーションへ

中之島EASTは近代建築と豊かな緑・水辺による卓越した景観美を有し、大阪天満宮や大阪城などの歴史・文化資源が集積している。また、四季を通じてさまざまな祭事、にぎわい事業が行われる水都大阪のシンボルエリアである。一方で、夜の公園や水辺は暗い箇所も多く夜の魅力アップが課題であり、中之島周辺の舟運利用数は増加傾向にはあるが道頓堀川と比較するとナイトクルーズ等まだまだ伸び代がある。また、大阪城への集客が周辺に十分に波及していない状況から、中之島EASTはエリアとして多様な資源を保有する魅力をさらに伝え、大阪に住む人・訪れる人の目的地としてもっと選ばれる変革が必要である。

文化歴史・魅力資源の集積がありながら
資源をつなぐ回遊ネットワークが分断

資源や魅力をつなぐ仕組みで
ウォーカブルな水辺へ

中之島EASTの周辺には、大阪天満宮・天神橋筋商店街、北浜テラス、大阪城といった水都大阪の歴史・文化を象徴するスポットや、近代建築、美術館・図書館などの芸術拠点が歩ける範囲に高密度に集積している。しかし、これら周辺エリアや施設間の回遊性・連携が乏しく、エリアのもつ強みを活かしきれていない。さらに、島内や川沿いにおける歩行者動線の東西の分断や、多様な船や水上アクティビティと陸上交通をつなぐ仕組みの導入の遅れが、水陸の魅力をつなぐ結節点機能の弱さに繋がっている。エリアの資源、人々の動線をつなぐ仕組みによる回遊性向上が必要である。

水都大阪の再生から約20年が経過したことによる
ハード・ソフト両面における「更新」の期

ハード・ソフトの両面での
更新による高質化

2001年の都市再生プロジェクト採択を契機に官民連携で進められてきた水都大阪の再生。中之島公園や八軒家浜の再整備から約20年が経過している。大阪市中央公会堂前広場やこども本の森中之島等、個々の新たな整備は進んでいるものの一体的な活用やマネジメントには至っていない。また、近年の都心居住者やインバウンドの増加等、取り巻く環境の変化への対応が求められている。これまでの蓄積を基盤としつつ、水都大阪のシンボルエリアとしてふさわしいハード・ソフトの両面での更新による高質化が求められている。

4. 中之島EASTを取り巻く現状 (1) 中之島EASTの現況

周辺人口の増加

- 都心6区では2000年前後より大幅に人口が増加しており、2045年頃まで増加が続く見込みである。
- 高齢化率は低く、20年後も65歳以上の人口は30%未満にとどまると推計されている。

夜間人口の増加

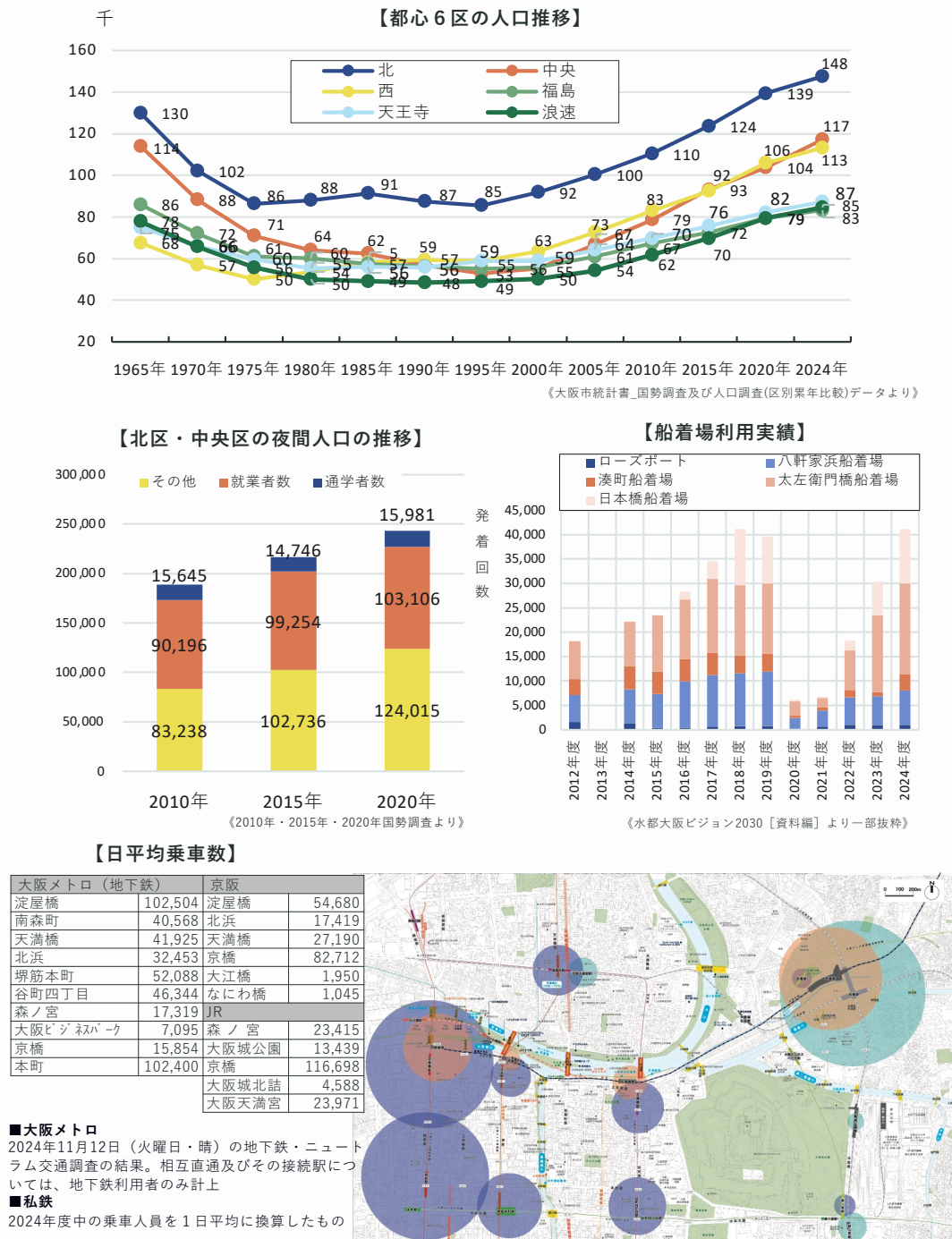
- 北区・中央区の夜間人口は増加傾向にあり、2015年と比べて2020年には12%増加している（昼間人口はほぼ横ばい）。
- 15～64歳の割合が78.8%と極めて高く、大川の北側を中心に人口増加地域が多い。
- 居住人口の急増に合わせ、働く場としてだけでなく住む人にとってもより魅力的な場所となることが期待される。

舟運の状況

- 2011年の河川空間の規制緩和により水辺の魅力スポットや公設船着場の整備が進み、舟運利用者数や八軒家浜船着場やローズポートなど中之島に設置された船着場の利用実績も順調に増加した。
- 中之島の船着場よりも、道頓堀川の船着場の利用の方が多い。
- 中之島の舟運をさらに活かし、「水都大阪の顔」としての魅力向上に繋げていく必要がある。

周辺鉄道駅の利用

- 東の京橋や西の淀屋橋・本町など、エリア両端に位置する主要ターミナル駅への集中が突出している。周辺の南森町・天満橋・森之宮にも数万人規模の乗降がある一方、島内中央の大江橋やなにわ橋の乗降客数は少なくなっている。
- エリア周辺の移動を島内中心部へと引き込み、エリア全体をつなぐ回遊ネットワークを形成していくことが求められている。

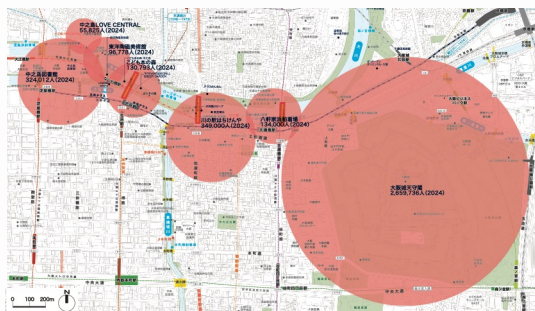


4. 中之島EASTを取り巻く現状 (2) 中之島EASTの活かしたい資源

周辺施設の集客

- ・ 大阪城天守閣が約266万人と大きな集客力を持っている。
- ・ 交通の結節点となる施設である川の駅はちけんや・八軒家浜船着場は数十万人規模の集客がある。
- ・ 島内の文化施設、水辺の賑わい施設は一定の集客がある。
- ・ 施設間の回遊を増やすことが重要である。

【施設来場者数(2024年)】



拠点・施設名	来場・利用者数
大阪城天守閣	2,659,736 人
川の駅はちけんや	349,000 人
中之島図書館	324,012 人
八軒家浜船着場	134,000 人
こども本の森 中之島	130,793 人
東洋陶磁美術館	96,778 人
中之島LOVE CENTRAL	55,825 人

にぎわい事業

・ 北浜蚤の市

2026年で17回目を迎える。現在は中央公会堂前広場など中之島EASTエリアを会場に開催されている。

・ 大川さくらクルーズ

大人1人につき小学生1人無料で乗船できる毎年開催のお花見クルーズ。

・ 春の水都大阪ウィーク「水都大阪川びらき」

水都大阪の春の到来を祝い、大川さくらクルーズの初日と合わせてセレモニーを開催。

・ 中之島公園バラフェスタ

水上からバラを観賞できるクルーズ船の運行などバラが見頃となる5月中旬に開催。

・ 大阪城春まつり ・ 中之島公園バラ園（春の見頃）

・ OAPさくら祭り ・ ペルギービールウィークエンド ・ 中之島まつり



出典：北浜蚤の市Instagram



出典：水都大阪HP



出典：北浜蚤の市Instagram



出典：水都大阪HP

・ 北浜蚤の市

春と秋の2回開催。2025年秋は初のナイトマーケットも開催。

・ 秋の水都ウィーク

10月の3連休あたりに中之島公園・八軒家浜を会場とし、舟運と連携したイベントを実施。

・ 中之島公園バラ園（秋の見頃）

夏

・ 天神祭

千年続く日本三大祭りの一つ。約1ヶ月間行われ、7月25日の本宮の夜は大川に多くの船が行き交う船渡御と奉納花火があがる。

・ 令和OSAKA天の川伝説

LEDの光玉「いのり星」を大川に放流し、大阪の都市魅力を発信するイベント。

・ 夏の水都大阪ウィーク

暑い夏に川風に吹かれたり涼み船に乗ったり水辺で涼を楽しんでもらうイベント。

・ 星愛七夕まつり（大阪天満宮）

・ 京橋だんじり祭り

・ ギャルみこし巡行

・ 天神天満阿波おどり



出典：大阪天満宮HP



出典：水都大阪HP



出典：令和OSAKA天の川伝説HP

・ 大阪・光の饗宴

大阪府内で開催されるイルミネーションイベント。コアプログラムであるOSAKA光のルネサンスは中之島で開催されている。

・ 冬の水都ウィーク

大阪・光の饗宴エリアプログラムとして八軒家や中之島を中心にライトアップやイベントを開催。

・ 大阪城イルミネージュ ・ 天満天神えびす祭 ・ 大阪城梅林



出典：水都大阪HP



出典：大阪・光の饗宴Instagram

春

冬

秋

5. 中之島EASTのめざす姿

目標・めざす姿

コリドーとは？

つなぐ、回廊、ネットワーク

- 本構想では、中之島EASTに集積する魅力をつなぐこと・つながった状態をコリドーとしている。

中之島EASTコリドーズ構想

徒歩圏に多様な魅力が集積する中之島EAST。

エリアの価値を最大化する3つのコリドーでこれらをつなぎ、人・情報・活動のめぐりを良くすることで、市民に愛され、世界の人々も訪れたい「水都大阪のデスティネーション」として再構築する。



天祭火祭
出典：大阪天満宮HP

歴史 文化



令和OSAKA天の川伝説
www.osaka-amanogawa.com/index.html



東洋陶磁美術館
www.moco.or.jp/

アート



アートエリアB1
www.nakanoshimalab.jp/



天神橋筋商店街
www.tenjin123.com

にぎわい



北浜蚤の市



サップでゴミ拾い活動
出典：日本サップ協会 HP

環境



はちけんや遊歩道のビオトープ



京阪電車
出典：京阪HD HP



中之島公園
www.parkgreenery.city.osaka.lg.jp/

公園



大阪城公園
出典：大阪城公園HP



中之島の夜景
出典：水都大阪HP



大川さくらクルーズ
出典：水都大阪HP

交通

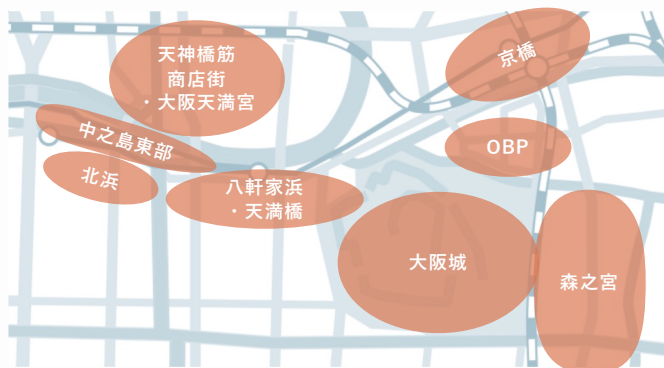


大阪メトロ
オンデマンドバス
出典：Osaka Metro Group HP

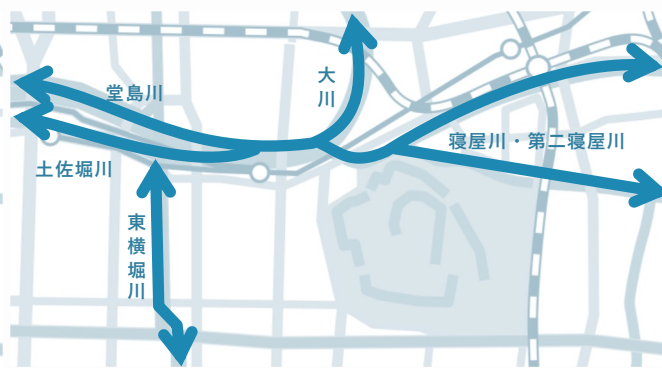
5. 中之島EASTのめざす姿

中之島EASTの多様な魅力・資源をつなぐ3つのコリドー

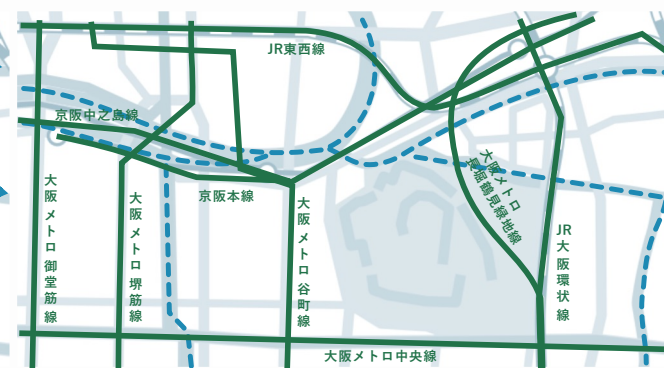
個性が際立つ 文化・歴史・活動のコリドー



質の高い 水・光・緑のコリドー



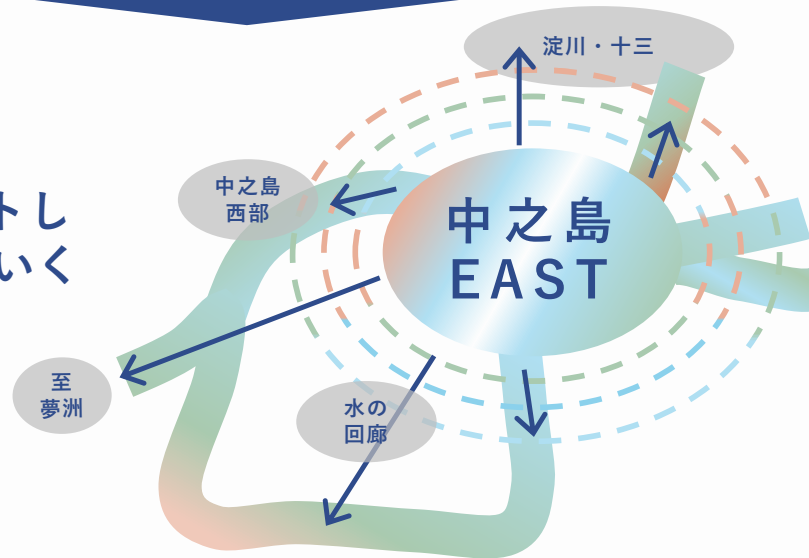
安全で快適な 交通・環境のコリドー



コリドーがつながることで実現できること

- ・水辺と文化のフェスティバル
- ・水辺と周辺の歴史・文化をめぐるツアー 等
- ・朝も昼も夜も散歩やそぞろ歩きが楽しい水辺
- ・中之島周遊ナイトクルーズ 等
- ・シームレスな船とモビリティの乗り継ぎ
- ・船着場での防災訓練と災害時の水上輸送ルート 等

中之島EASTからスタートし
他のエリアにも波及していく



6. 実現に向けたアプローチの考え方と提言

アプローチの考え方

つなぐ

中之島EASTに集積する魅力を、水辺を中心に、空間的に徹底的につなぐ。

活かす

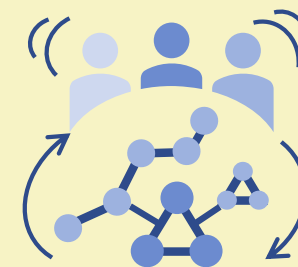
つながった魅力を活かす仕組みを実装し、人・情報・活動のめぐりを良くする。

ひろげる

コリドーズをつなぎ・活かす取り組みを中之島EASTからスタートし、水都大阪全体に広げていく。

共創で育む

多様な魅力や資源をつなぎ、めぐりを良くする仕組みを実装していくためには、中之島EASTに関わる多様な主体と共に取り組むことが不可欠。官民の垣根を越え、多様な主体の共創によって取り組みを進める。



実現に向けた提言

- 1 官民連携で歩いて巡れる水辺空間の実現
- 2 水陸空をつなぐシームレス交通ネットワークの構築
- 3 水辺の魅力を高めるナイトシーン&ナイトカルチャーの創出
- 4 回遊性を高めるプロモーションとインフォメーション基盤の整備
- 5 公共空間・公共施設を活かしたエリアマネジメントの仕組みの導入

1

官民連携で歩いて巡れる水辺空間の実現

イギリスではPublic Right of Way（公共の通行権）によって、128kmの水辺の歩行者空間を実現している。大阪も国際的な水都として、「水都大阪Public Right of Way」を掲げ、公共空間・民地に関わらず、誰もが自由に水辺にアクセスでき、快適に歩いて往来できる水辺の歩行者空間を中之島EASTから実現されるべきである。回遊性の向上やグリーンインフラによる日常的な憩いに加え、災害時には避難路や舟運連携による物資輸送路となるなど、都市の防災リダンダンシー（多重性）を担う水陸一体の歩行者空間として機能することが望ましい。



取り組み

1. 中之島EASTの水辺をつなぐ遊歩道整備

森ノ宮・京橋・本町橋から淀屋橋まで、特色あるエリアをつなぎ回遊性を高める水辺の遊歩道の官民連携による整備

2. 公園・橋・まちの接続部など歩行者ボトルネックの解消

公園・橋・まちの接続部のバリアフリー化等による誰もが往来しやすい水辺づくり

3. 水辺にアクセスできる分かりやすいサイン

駅から船着場、船着場から各種施設等、水辺の施設や歩行者空間を分かりやすく示すサイン等の整備

4. 災害時の避難・輸送を支える防災リダンダンシーの確保

水辺遊歩道と舟運施設（船着場等）を連動させ、発災時における広域避難ルートや緊急物資の輸送・搬送路として機能する水陸代替ネットワークの構築

5. 環境に配慮した水辺空間の整備

都心部の貴重な水辺・公園として、グリーンインフラ等を積極的に取り入れた環境に配慮した水辺・公園の整備



全長128kmにわたって伸びるテムズ川沿いの遊歩道テムズパス（ロンドン）
www.tfl.gov.uk/modes/walking/thames-path

※ Public Right of Way - 公共の通行権
公共の道路や歩道だけでなく個人の所有地であっても自由に歩いて通行できる法律上の権利。
近代以降、土地の囲い込みや私有地化が進む中で「歩く権利」を主張する市民運動の中で法的に保護されるようになった。（イギリス）



テムズパス（ロンドン）

水陸空をつなぐ シームレス交通ネットワークの構築

鉄道網、バス等の陸上交通、自転車をはじめとするパーソナルモビリティ、舟運、実装に向けた検討が進む空飛ぶクルマにいたるまで、水陸空の多様な交通手段をシームレスにつなぐ交通ネットワークを構築し、回遊性の高い中之島EASTが実現されるべきである。

取り組み

1. 水陸空の交通のシームレス化 (B to C)

交通ネットワークの更なる充実と各種交通機関へのタッチ決済導入等によるシームレス化

2. DXによる安全で便利な舟運環境整備 (BtoB+C)

舟運施設のデジタル管理、船の位置情報の共有 等

3. エリアをつなぐ多様な船着場とルールを整備

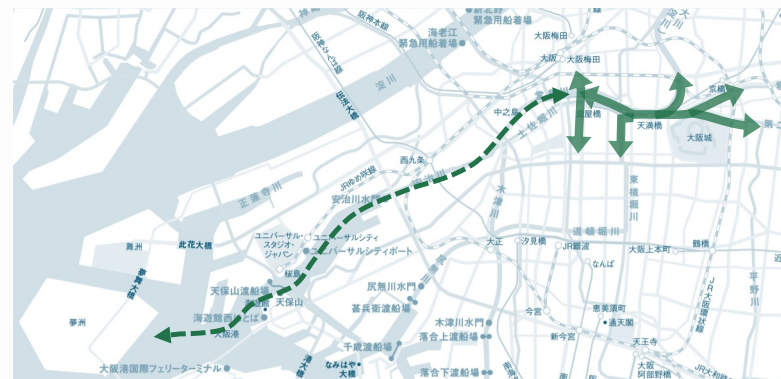
交通手段としての舟運を確立するためのランドマーク等をつなぐ小型の船着場導入と、舟運（動力船・人力船）を安全安心に活性化する運用ルールの整備

4. 東西をつなぐ船舶航行ルート確保の検討

中之島周遊や海への回遊性を高めるため、ボトルネックとなっている御堂筋（淀屋橋・大江橋）の船舶航行ルート確保のための技術的検討

5. 空飛ぶクルマ実装に向けた規制緩和

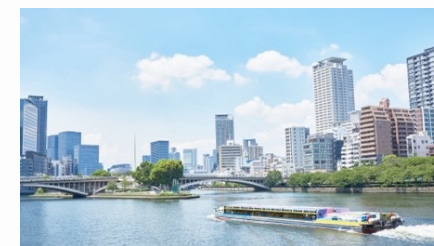
森之宮ポートとつながる八軒家浜や中之島島内へのポート増設



オンデマンドバス
Osaka Metro (大阪)
<https://maas.osakametro.co.jp/odb/>



空飛ぶクルマ - Osaka Metro (大阪)



中之島EASTを定期運行するアクライナー
大阪水上バス <https://suijo-bus.osaka/cruiselist/aqualiner/>



短距離移動に適した
シェアモビリティ
サービス
LUUP
<https://luup.sc/service/>



中之島線の延伸が検討されている京阪電車
<https://www.keihan.co.jp>

水辺の魅力を高める ナイトシーン&ナイトカルチャーの創出

橋や護岸のライトアップが進む夜の水辺の魅力をより高めるため、歴史・文化施設といったランドマークを活かした光の見せ場づくりや、日常的に夜の水辺を楽しむナイトカルチャーの創造により、中之島EASTにおける水上からも陸上からも魅力的なナイトタイムエコノミーが活性化されることが望ましい。



取り組み

1. ライトアップによる夜間景観の充実

歴史的建築物や美術館等のランドマークを際立たせるライトアップによる水辺の夜間景観の見せ場づくり

2. 夜を過ごしたくなる公園・水辺づくり

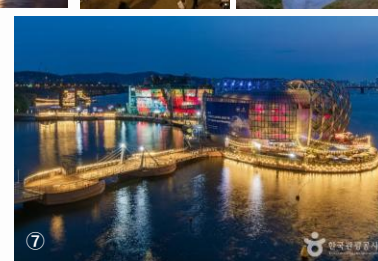
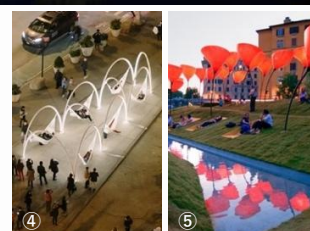
イルミネーション時期以外の日常も訪れたくなる光のアートや憩いの場の整備

3. 夜も楽しめるナイトクルーズ・ナイトカルチャーの拡充

夜景を楽しめるクルーズや水上アクティビティ等、夜ならではの文化プログラムなどの拡充

4. 新たなシンボルとなる水上建築

夜間景観の魅力にもなる水上ホテル等の水上建築による新たな水都大阪のシンボルを官民連携で創出



①水辺の包括的なライトアップILLUMINATED RIVER (ロンドン)
www.illuminatedriver.london

②鳥取城跡・石垣ライトアップ (鳥取県)
出典：LEM空間工房

③船から体験できる橋を使った光のアート
Amsterdam Light Festival (アムステルダム)
<https://amsterdamlightfestival.com/en/artworks/whole-hole>

④ハンモック付き光るアートFlatironSkylin (NY)
<https://lot-arch.com>

⑤花形の光るアートWHATAMI(ローマ)
<https://www.startt.it>

⑥水上の集合住宅・SLUSHUIS(アムステルダム)
<https://big.dk>

⑦水上複合文化施設・セビソンム(韓国・漢江)
<https://japanese.visitkorea.or.kr>

4

回遊性を高める プロモーションとインフォメーション基盤の整備

文化施設や舟運事業者、各種団体等と連携し、中之島EASTや周辺エリアの「まち」、「文化」、「船」、「水辺施設」等の魅力的なコンテンツやスポットをつなぎ、中之島EAST内外の回遊性を向上するサイン整備、インフォメーション機能の拡充、エリアの魅力を発信する戦略的なプロモーションの拡充を行うことが望ましい。合わせて、エリア内外の文化施設を巡る共通パス等のソフトインフラの整備・活用が進められるべきである。

取り組み

1. インフォメーションセンター

周辺エリアや水都大阪の魅力（スポット、コンテンツ、歴史等）を知る・学ぶことができる展示と案内機能を有するインフォメーションセンターの整備

2. プロモーション

水都大阪コンソーシアムや大阪観光局と連携し、文化施設・舟運事業者・宿泊施設・水辺施設・各種団体・周辺エリアと協働で、オンラインとオフラインを組み合わせたクロスメディアで情報発信・プロモーションを実施

3. 回遊性を高めるハード&ソフトインフラの整備・活用

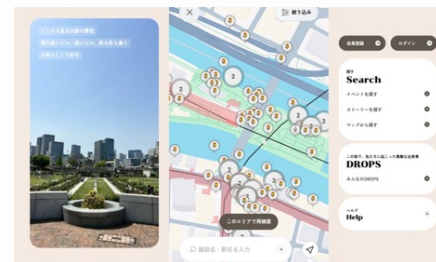
中之島EAST内外の回遊性を高めるデジタルサイネージを含めたサイン等のハード整備や、エリア内の文化施設を結ぶ共通パス等のソフトインフラの導入



インフォメーションセンター
City Information Centre (ロンドン)
www.onecitylondon.com/directory/city-of-london-information-centre/



クリエイティブアイランド
ミーティングポイント（中之島）
<https://nakanoshimalab.jp/>



みんなちdrop for 中之島（中之島）
www.drop.machiapps.com/nakanoshima/



パリ ミュージアムパス（パリ）
www.parismuseumpass.fr/

5

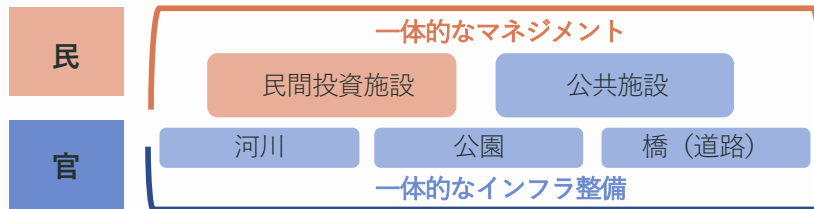
公共空間・公共施設を活かした エリアマネジメントの仕組みの導入

中之島EASTは、中之島公園や大阪市中央公会堂等の豊かな公共空間・公共施設を有する。これらを最大限に活かしていくために、多様な主体の共創を育む官民連携の仕組みとともに、デザイン誘導やクオリティコントロールのルールを構築することが望ましい。都市再生特別措置法の活用等により、公共空間の自由な利活用を進めつつ、水都大阪の上質なシンボルエリアにふさわしい景観や空間の質を向上させ、より魅力ある中之島EASTのまちづくりを進めていくべきである。

取り組み

1. 官民連携による一体的なマネジメント

収益施設＋公園の一体的なマネジメントのあり方を検討し、民間活力の導入（民間による投資）によるエリア価値向上に資する仕組みを導入



3. 施設・団体・周辺エリアとの連携の強化

既存の魅力を最大限活かすために、中之島EASTや周辺の施設間連携の強化（美術館、文化施設等）

中之島EAST及びその周辺エリアの拠点や団体との連携



クリエイティブアイランド中之島 <https://nakanoshimalab.jp/>



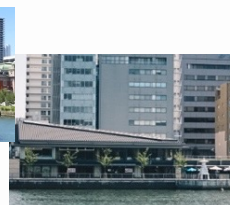
天神橋筋商店街
www.tenjin123.com



β 本町橋
www.hommachibashi.jp



北浜テラス
www.osakakawayuka.com



川の駅はちけんや
www.8ken-ya.osaka



御堂筋
www.midosuji.biz



QUINT BRIDGE
www.quintbridge.jp

2. 民間提案を受け入れる仕組みづくり

公園・水面の利活用における申請等のハードルを下げ、中之島の質を高める民間提案を受け入れる仕組みを導入
デザイン誘導やクオリティコントロールのルールの整備

例：管理者の窓口一本化
民間受け入れ窓口設置
ルール・申請の簡素化

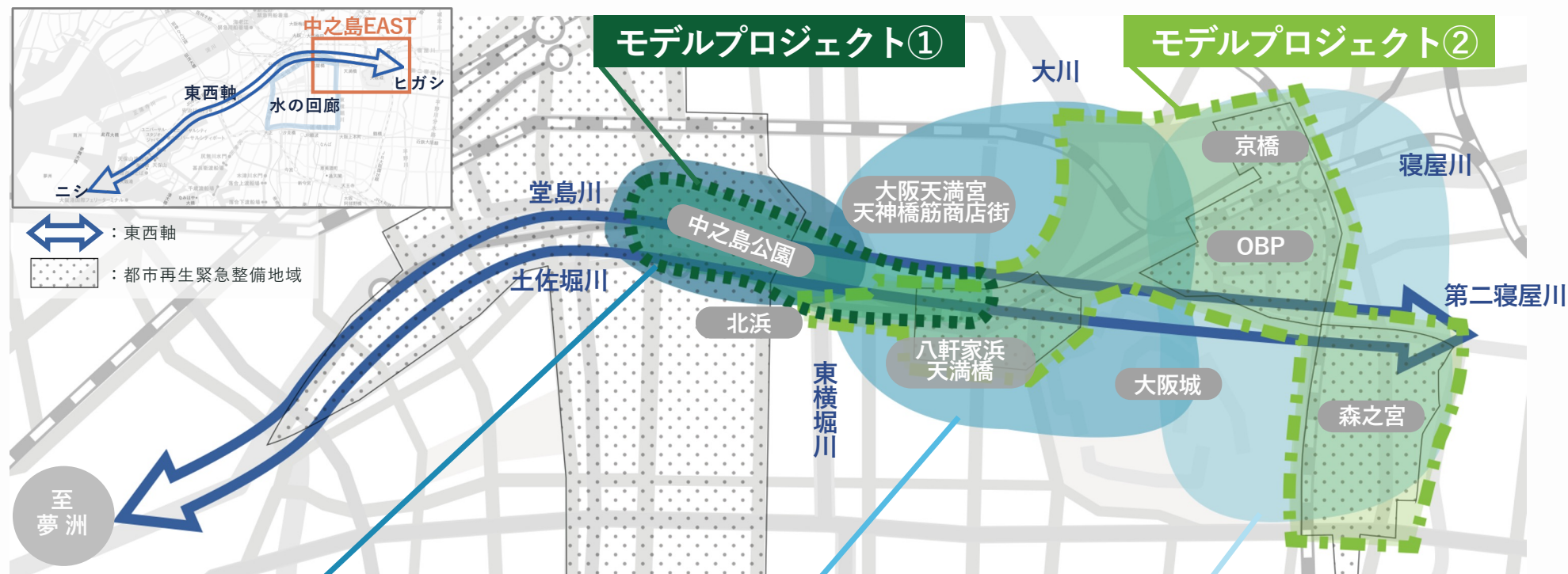


4. 民間による公共空間の質の向上

民間の公共貢献等による公共空間の整備や維持管理等による公共空間の質の向上（水辺、船着場、地先）

6. 展開エリアと2つのモデルプロジェクト

中之島EASTを3つのエリアで捉え、西から東へ取り組みを展開する。
都市再生緊急整備地域をつなぐ水辺を対象にモデルプロジェクトを実施し、
周辺の開発と連動しながら相乗効果をねらう。



A. 水都大阪の顔となる 中心的なエリア

水と緑にかこまれた中之島公園が人々を迎え、文化・芸術施設が集積するクリエイティブアイランド中之島を楽しむことができる、水都大阪の顔となるエリア。

B. 水都大阪のターミナル エリア

川の駅はちけんやを中心に、舟運・鉄道
接続のハブ機能を有する、水都大阪の主
要ターミナルとなるエリア。

C. イノベーション拠点 エリア

大学新キャンパスや新駅開発を契機に、森之宮・OBP・京橋をつなぎ国際的な観光・イノベーション創出を牽引する「ヒガシの拠点」となるエリア。

2009年の整備以降の周辺環境の変化を踏まえ、水辺の魅力を感じられ、誰もが心地よく回遊・滞在できる、世界に誇る水都大阪のシンボル公園へリニューアルする。2030年度の事業者切り替えのタイミングで、エリアの更なる魅力向上に向けた官民連携による整備・マネジメントを導入すべきである。

船のボトルネックの解消

- ・御堂筋（淀屋橋・大江橋）の船舶航行ルートの確保のための技術的検討

水上・水辺を活かしたシンボル公園への再整備

- ・水辺を感じられる公園再整備
- ・電気・水栓等の利活用を支えるインフラ整備
- ・水辺にアクセスできる分かりやすいサイン等の整備
- ・環境に配慮した持続可能な水辺空間の整備
- ・民間提案を受け入れる仕組みづくり

中之島公園エリアの価値を高める公民連携スキームの導入

- ・官民連携による一体的なマネジメント（公園、河川、遊歩道、周辺施設、橋梁等の一括公募による一体マネジメント）
- ・施設・団体、周辺エリアとの連携強化

回遊性を高めるインフォメーション機能の拡充

- ・インフォメーションセンターの整備
- ・回遊性を高めるハード&ソフトインフラの整備・活用

リバービューを活かした民間事業

- ・新たなシンボルとなる水上建築
- ・「THE BOLY OSAKA」等

水上からも陸上からも魅力ある夜間景観の形成

- ・歴史的建築物や美術館等のランドマークを際立たせるライトアップ
- ・光のアートや憩いの場の整備による夜を過ごしたくなる公園・水辺づくり
- ・夜も楽しめるナイトクルーズ・ナイトカルチャーの拡充

島内のボトルネックの解消

- ・公園・橋・まちの接続部など歩行者ボトルネックの解消（バリアフリー化等）
- ・水陸空の交通のシームレス化
- ・駐輪場や橋上の横断歩道の整備
- ・歩きたくなる橋下空間の整備

動力船・人力船による魅力的な景観形成

- ・DXによる安全で便利な舟運環境整備
- ・交通手段としての舟運の確立に向けた多様な船着場とルールの整備
- ・水晶橋導流堤の活用



水都再生のシンボルを水辺と人をつなぐ水都大阪のターミナルに

整備後約20年を迎える「八軒家浜」の施設更新及び水都大阪の中核を担う水辺の拠点施設としての機能強化を行う。天神橋～天満橋のエリアから西はふれあいの岸辺、北浜テラス。東は大阪城周辺地域までの一体的な歩行者空間及び夜間景観の整備と、水辺と人をつなぐ水陸交通の結節点として水都大阪のターミナル機能を拡充すべきである。

川の駅はちけんやのリニューアル・機能強化

- 市民が訪れる川の駅へのリデザイン
- 水都大阪の魅力に触れられる展示・コミュニケーション機能
- 周辺エリアや水都大阪の魅力、舟運などの展示と案内機能を有するインフォメーションセンターの整備
- 中之島EAST内外の回遊性を高めるサイン等のハード整備
- 民間による公共空間の質の向上（水辺、船着場等）

提言 4

提言 5

ヒガシの拠点とつながる一体的な遊歩道整備

- 森之宮・京橋など大阪城公園周辺地域から中之島EASTの水辺をつなぐ遊歩道整備
- 水辺にアクセスできる分かりやすいサイン

提言 1

エリア間の連携強化

- 大阪城公園周辺地域イノベーションプラットフォームや大阪城公園周辺地域都市再生緊急整備協議会等との連携強化

提言 5

日常から非常時まで想定した水陸空の交通ネットワーク整備

- 小型船着場の開設など災害時の避難・輸送を支える防災リダンダンシーの確保
- エリアをつなぐ多様な船着場とルールの整備
- 空飛ぶクルマ実装に向けた規制緩和

提言 1

提言 2

水上からも陸上からも魅力ある夜間景観の形成

- ライトアップによる夜間景観の充実（大阪城石垣・桜・公共施設など建築や歴史的建造物、船着場）
- 大阪城などの夜景を楽しめるクルーズや水上アクティビティなど夜も楽しめるナイトクルーズ・カルチャーの拡充

提言 3

凡例

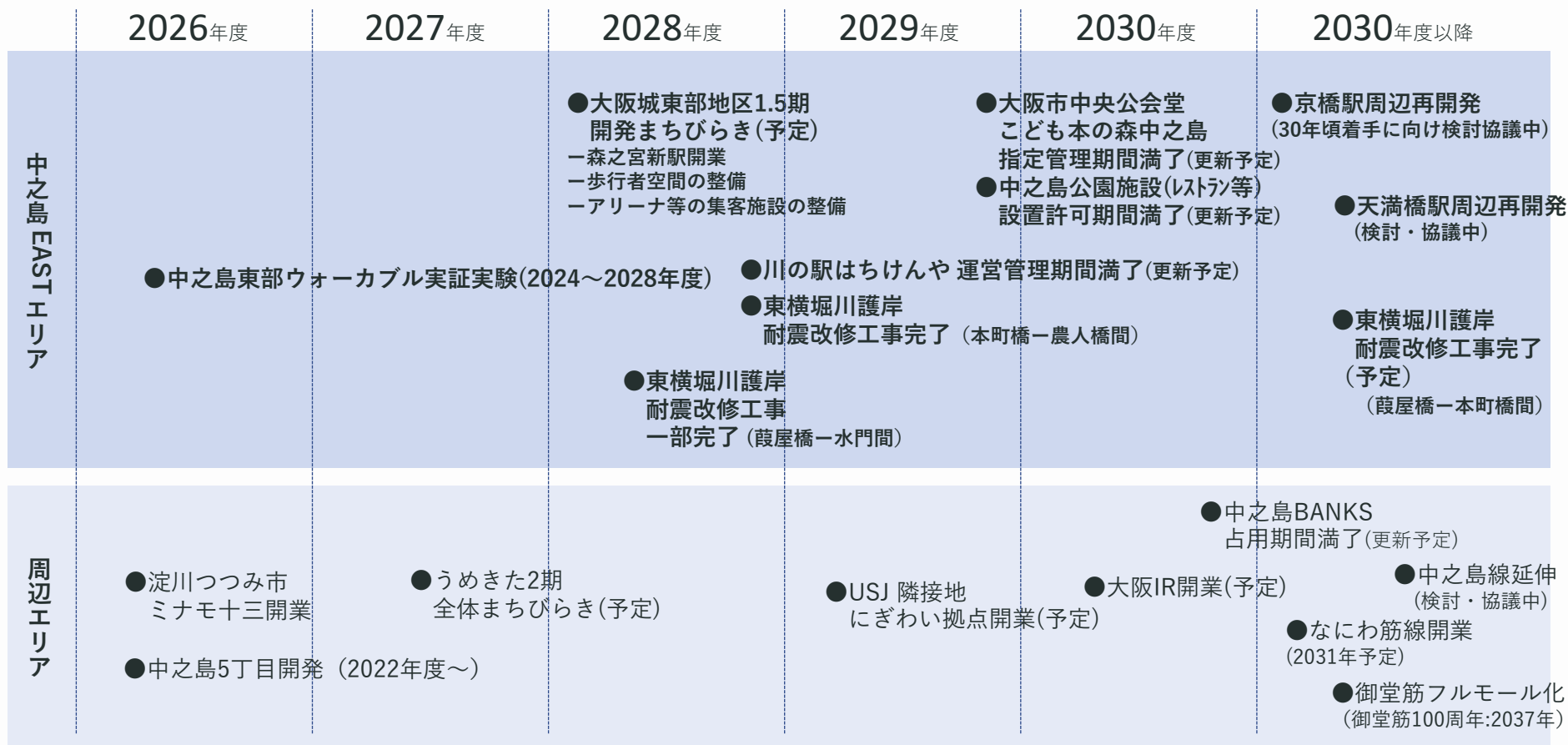
- モデルプロジェクト範囲
- 大阪城公園周辺地域
- 再開発
- 遊歩道
- 民間活用
- 橋下通行
- 橋下通航(川)
- 船の航路
- 鉄道
- アクセス
- EVなどレベル差の解消も含む
- 船着場・河川施設等
- ハブ船着場
- 船着場の新規開設
- インフォメーションセンター
- 橋上空間活用
- 水面活用
- ライトアップ(府事業)
- ライトアップ(未定)
- 見る



0 100 200m

7. 中之島EASTこれからの予定

中之島EASTを取り巻く周辺まちづくりの動向



中之島EAST検討会の今後の予定

中之島EAST検討会では、今後モデルプロジェクトの具体化に向けたワーキンググループを立ち上げ、2026年度中に右記の項目の検討を行う。
2027年度以降、周辺まちづくりの動向を踏まえながら、モデルプロジェクトから実現に向けた取り組みを進める。

【今年度の検討項目】

- ・モデルプロジェクト実現に向けて課題を再整理
- ・推進体制及びスキーム検討
- ・空間イメージ
- ・ロードマップ